

明るい子 かしい子 たくましい子

元気がある 夢がある 楽しい学校 中央小



中央小だより

令和7年度 9月号

蕨市中央6-8-25

Tel 442-2672

学級数	13
児童数	380名

実りある2学期に

今年も暑い夏でしたが、3か月予報では、9月に入っても残暑が厳しいようです。過ごしやすい気候の秋が待ち遠しいところです。

避難所運営協議会の訓練から

8月25日に本校と中央東小をオンラインでつなぎ、避難所運営協議会が同時開催され、本校からは私と教頭先生、教務主任が参加しました。4年前から始まった取組とのことですが、今回は、避難所の参集運営者(地域町会の方と防災士、市役所職員、学校職員)が実際に集まり、昨年度の「続き」の設定で机上訓練を行いました。想定は、ある年の9月10日(火)午後「都心南部直下地震」が発生し、蕨市も震度6クラスの揺れで電気、ガス、水道が止まり、倒壊する家屋も見られる状況。当日は、午前中から熱中症警戒アラート発令され、夕方には雷雨の予報。さらに平日なので、学校には児童がいるという設定でした。

昨年の続きと言うことで、市から避難所開設の連絡を受けて参集したところから、役割分担を決めて、避難者の要望などに各活動班が対応していく(紙に書き出す)という内容でした。また、時間の経過に合わせて報告が求められました。

学校としては子供たちの安全が最優先ながら、停電では各フロアの状況把握に時間がかかること、校舎が耐震で大丈夫でも、ガラス破損や落下物による怪我や怖くて泣いてしまう子の対応など、地震の直後からかなり厳しい状況となることが分かりました。また、余震が頻繁に来ることも予想され、その度に身を隠さなくてはならないことなども確かめました。

さらに、避難所開設と並行して子供たちの引き渡しを行うことになりますが、保護者が帰宅できずに子供を引き取りに来られないことも想像に難くありません。停電すればエアコンが動きませんから、待機するだけでも、かなり苦しい状況が想像できます。

そして、待機している際のトイレの問題も今回は浮き彫りになりました。大地震では、トイレ

の水を流さずにビニル袋と凝固剤で対応する必要があります。この指導はこれまで全くしたことがありません。このことについては、今後の課題となりました。

学校でも、防災訓練・避難訓練を行っていますが、実際には、マニュアル通りにいかないこともあるかもしれません。状況に合わせて適切に判断することが大切になりますが、この判断の材料は「情報」です。安心安全な学校であるために、地域と協力しながら、できる限り備えていきたいと思っています。



2学期に向けて

夏休みが終わり、2学期を迎えました。運動会や校外学習・修学旅行などの大きな行事等があります。各行事の目的を達成できるよう指導することで、一人一人の成長を期待しています。

また、2学期は、学びを深める大切な時期です。1学期に行った埼玉県学力・学習状況調査の結果が返却されますので、これも有効に活用し、これからの指導に生かしてまいります。

今週に教育課程、生徒指導、人権教育、特別支援教育、不祥事防止などの校内研修を実施し、2学期からの指導に備えました。子供たち同様に、職員も学び続けています。

最後に、夏休み期間の個人面談にご協力いただきましてありがとうございました。実りある2学期となるよう努めてまいりますので、引き続きご理解、ご協力をお願いいたします。

校長 板橋 利行